

「勉強会：クラゲの会ーなんでまたみんなしてクラゲなんですか！？」

【日時】11月1日（金） 13:25～17:00（その後、同会場で簡単な飲み会をしながらエンドレス）

【場所】片平キャンパス生命科学研究科講義室

【プログラム・演者】（敬称略）（講演 20 分＋議論 10 分）

- ・ 13:25-13:30 はじめに（田村）
- ・ 13:30-14:10 出口竜作（宮教大）
- ・ 14:10-14:40 谷本 拓
（10分休憩）
- ・ 14:50-15:20 中嶋悠一郎
- ・ 15:20-15:50 牧野能士
（10分休憩）
- ・ 16:00-16:30 丸山真一郎
- ・ 16:30-17:00 熊野 岳

【概要】

本研究科には、クラゲに代表される刺胞動物を材料に研究を展開している研究者が、複数名（少なくとも 5-6 名）います。一つの部局でこれだけ多くの研究者が刺胞動物を使って研究をしているのは、おそらくうちの研究科くらいのもので、神経行動学、発生生物学、ゲノム科学、生態進化学、細胞生物学、、、たかがクラゲにどうしてこれほどまで研究者が喰いついているのか、その魅力と研究の観点は何なのか、ここはひとつみんなで集まってその真意を聞いてみたいと思います。勉強会にあたっては、クラゲ研究の胴元でありカリスマでもある、宮城教育大学の出口竜作先生にお越しいただき、クラゲの魅力についてたっぷり語っていただきます。

多種多様な研究分野の科学者が、見たこともない生物に出会い、まったく新しい研究材料・モデル系として研究を始める。それは、刺胞動物に限らず、動物、植物、微生物、細胞、そして物質であっても同じで、面白いと同時に大変なことでもあります。クラゲの話为例として、新規研究材料を使う魅力と研究戦略についてみんなで勉強してみませんか。実験の実際や苦労話など細かいことも尋ねながら、みんなでワイワイ話し合しましょう。

学部学生・大学院生から教授陣まで、生命科学研究科のメンバー全員を中心としオープンな勉強会としたいと思います。みなさん是非ご参加ください。